

校区の避難経路 歩き確認 細田中生

校区内の避難経路を確認して防災意識を高めようと、日南市・細田中（清俊一校長、37人）1年生9人が大堂津地区を中心に野外学習を行った＝写真。宮崎公立大の山下裕亮准教授を講師に迎え、避難時の注意事項などを学んだ。

3日に実施。生徒たちは津波が来たという想定で2班に分かれ、大堂津海水浴

場から高台にある神社を徒歩で目指した。塩鶴八幡神社を目指した班は、山下准教授から「川沿いの道は地盤が緩く、地震で崩れることがある」などの解説を受けながら、神社の上にある避難所に到着。案内板の位置などを確認した。

同海水浴場近くの津波避難複合型施設を見学。学校の通学路にある緊急避難場



所も確認した。原井章椰さん(12)は「避難場所を自分でしっかり決めて、地震と津波から命を守るようにしていきたい」と話していた。（福重政則）